

高知港長期構想(案)へのご意見について

高知港長期構想（案）について、令和元年 10 月 15 日から令和元年 11 月 13 日まで県民の皆様からのご意見を募集しましたところ、1 名の方から 4 件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見とそれに対する考え方について、下記のとおり取りまとめましたので公表します。

番号	意見・要望	意見・要望に対する考え方
1	<p>◆安全・安心 について (P.46～47)</p> <p>・特に南海トラフ巨大地震・津波災害発生の際は、港湾機能は被災後の生命線となるものであるため、基本戦略 5・6 の各事項については着実な推進を図ってほしい。</p>	<p>・大規模災害発生時において、緊急物資輸送等の海上輸送による拠点機能の強化を図り、港湾と背後道路ネットワークを一体として機能させること等、災害に強い港づくりを目指してまいります。</p>
2	<p>◆安全・安心 について (P.46～47)</p> <p>・近年豪雨災害が急増激化していることから、地震津波災害に加え、豪雨災害時に高知港が果たすべき役割、機能等についても検討してほしい。具体的には、潮江地区の位置づけ・役割とそれに即した整備方針や、三里地区との連携・役割分担、発災前の住民避難や港湾施設の浸水被害防止緊急対策等に関すること、等。</p>	<p>・高知港は地震津波や豪雨など大規模災害時に県外から物資等を受け入れる一次防災拠点港に位置づけており、潮江地区と三里地区の役割等を検討した上で拠点機能の強化を図ってまいります。</p>

番号	意見・要望	意見・要望に対する考え方
3	<p>◆交流 について (P.44～45)</p> <p>・“みなと”と市民の触れ合いの促進は、高知が海辺のまち、港湾都市であることを市民に柔らかに意識づけすることにもつながり、地震津波災害に対する防災意識を間接的に喚起し維持する上でも有効かつ重要であると考えるので、周辺のまちづくり等とも連携して優先度高く積極的に推進してほしい。</p>	<p>・「みなと」と「まち」が融合した魅力ある空間づくりを目指してまいります。</p>
4	<p>◆交流 について (P.44～45)</p> <p>・港内小型旅客船ネットワーク構築 (P.45) は、災害時の三里地区と潮江地区のスムーズな連携にも資するものともできるのではないかと。また、近世から近代、現代へと移転、拡大していった港湾都市としての高知の歴史の“年輪”を辿るルートであり、クルーズ船の誘致・受入れ体制の充実 (P.44) や、県及び高知市の観光振興の取り組み、ボランティアガイドや浦戸湾岸各地のまちづくりなど市民活動などとの連携もはかり推進してほしい。</p>	<p>・浦戸湾や周辺の観光資源を活かすために、関係機関とも連携しながら高知港内に市民・観光客の足となる小型旅客船ネットワークを構築し、水辺と各施設の回遊性向上を図ってまいります。</p>